

|             |
|-------------|
| 公 表 日       |
| 平成24年 6月25日 |

## 随意契約結果及び契約の内容

|                              |                                                               |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 業務の名称                        | 五ヶ瀬川水系河川生態系影響調査検討業務                                           |
| 業務概要                         | 別紙のとおり                                                        |
| 契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地 | 分任支出負担行為担当官<br>九州地方整備局 延岡河川国道事務所長<br>春田 義信<br>宮崎県延岡市大貫町1-2889 |
| 契約年月日                        | 平成24年 6月25日                                                   |
| 契約業者名                        | (公財) リバーフロント研究所                                               |
| 契約業者の住所                      | 東京都中央区新川1-17-24                                               |
| 契 約 金 額                      | 21,525,000円(税込み)                                              |
| 予 定 価 格                      | 21,577,500円(税込み)                                              |
| 随意契約によることとした理由               | 別紙のとおり<br>(※随意契約理由書を添付すること。)                                  |
| 業 務 場 所                      | 五ヶ瀬川水系                                                        |
| 業 種 区 分                      | 土木関係建設コンサルタント業務                                               |
| 履行期間(自)                      | 平成24年 6月26日                                                   |
| 履行期間(至)                      | 平成25年 3月15日                                                   |
| 備考                           |                                                               |

## 契約理由書

1. 業務件名 五ヶ瀬川水系河川生態系影響調査検討業務
2. 履行場所 五ヶ瀬川水系
3. 契約の相手方 住 所：東京都中央区新川1 丁目17 番24 号  
会社名：公益財団法人リバーフロント研究所  
電 話：03-6228-3860
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

### 1) 当該業務の目的

本業務は、大規模な河川改修による生態系への影響把握の精度向上、さらに河川環境の保全・復元手法の技術向上等についての基礎資料とするため、五ヶ瀬川水系において、激特事業の生態系への影響、保全と再生の効果を生態学的見地から調査検討を行い、今後の河川管理及び河川環境の保全・再生の展開に資するものである。

### 2) 業務の内容

|                    |        |
|--------------------|--------|
| 計画立案               | ・・・ 一式 |
| 打合せ協議              | ・・・ 一式 |
| 基礎資料収集整理           | ・・・ 一式 |
| 河川生態系変動予測モデル検証     | ・・・ 一式 |
| 河川改修による保全と再生の効果検証  | ・・・ 一式 |
| モニタリング計画案の検討       | ・・・ 一式 |
| 総括とりまとめ            | ・・・ 一式 |
| 委員会等の運営及び委員会等資料の作成 | ・・・ 一式 |
| 報告書作成              | ・・・ 一式 |

### 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を37者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち1者を技術提案書の提出者として選定し、1者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者及び照査技術者の資格及び実績等、配置予定技術者及び照査技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に「配置予定技術者の成績及び表彰」は優れた評価であり、かつ「実施方針・実施フロー・行程表・その他」の「業務理解度」における河川生態系影響予測モデル等の目的や条件を記載されていること、及び評価テーマの「河川環境におけるモニタリング計画策定のための留意点について」に対する技術提案について「的確性」について、優れた提案がおこなわれていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

延岡河川国道事務所 調査第一課長